

令和7年度 出石精和園共同生活援助事業所 地域連携推進会議 議事録

事業所名：出石精和園共同生活援助事業所

開催日時：令和7年12月9日（火） 14：30～16：30（事業所見学含む）

開催場所：出石精和園共同生活援助事業所 ほたる

出席者：利用者代表、利用者家族代表、出石町鍛冶屋区長（地域関係者）
社会福祉法人但馬福祉園出石荘所長（福祉又は経営について知見を有する者）、豊岡市社会福祉課
出石精和園共同生活援助事業所職員4名

会議次第

○会議開催前にクレパス、きらり、かなで、ほたるの4事業所の事業所見学を地域連携推進委員として出席された方と実施しました。14：30～15：15

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 出席者紹介
- 4 施設概要説明
- 5 意見交換
- 6 閉会

意見交換内容

1 事業所運営報告について

（1）サービス内容について

グループホームの概要説明をしました。クレパス（11名定員）、きらり（男性用、7名定員）、ほたる（10名定員）、かなで（7名定員）の4つのグループホームがあり、合計35名の利用者が生活しています。

避難訓練、家族ふれあいレクリエーション、日帰り旅行や1泊旅行をはじめとする利用者の活動や出石町内の夏まつり等地域との交流についても写真とともに報告をしました。

意見・質疑①

■（委員）：各グループホームの世話人は別々ですか？

→（職員）：基本的に別々です。男性利用者が入居されているホームには夜間帯は、男性の世話人、女性入居者のホームには女性の世話人が勤務しています。ただし、緊急時には柔軟に対応することもあります。きらり、ほたる、かなでの3ホームには夜間は4名の世話人が勤務しています。

クレパスにおいては夜間の世話人は勤務しておらず警備会社に管理委託しています。

意見・質疑②

■(委員)：同一敷地内にある女性用のグループホームほたとかなでの利用者の振り分けは、障害の程度によって決めているのですか？

→(職員)：必ずしもそうではありません。原則として利用者の意向をもとに居住していただいております。

意見・質疑③

■(委員)：グループホームの費用はどれくらいかかりますか？

→(職員)：個人差はありますが平均するとひと月6万5000円から7万円程度の費用がかかっています。内訳は以下の通りです。

家賃：3万7450円～3万8750円（ほたる、きらり、かなで）
3万円（クレパス）

※家賃については国と市町からの助成金があります。

共益費（光熱水費、区費等）：概ね1万2000円程度

食費：概ね1万5000円～2万円程度

その他、趣味や衣類等の購入などされていますが障害年金の範囲で生活に困ることはないと考えます。

(2) 経営状況について

昨年度の収支状況について、大きく支出が勝っています。グループホームの運営自体が厳しい状況にあり今年度は収支改善を図った結果、収支状況が少しずつ改善をしていますがやや支出が勝る見込みとなっています。障害福祉サービスの収入である給付額等については、3年に1回の報酬改定があるものの、近年の物価高等も影響し厳しい状況が続いています。

(3) BCP（業務継続計画）について

災害や感染症発生時の事業継続計画について説明がありました。3日分の備蓄品を用意し、水害時の避難場所の確保、職員が来られない場合の優先業務の設定などが計画されています。感染症対策としては、防護具の準備や使用訓練、初動対応の手順などが定められています。

(4) 虐待事案、事故・ヒヤリハットについて

虐待防止の取り組みとして、「あったかサポート実践運動」や虐待防止のセルフチェック、虐待防止研修会の実施などが報告されました。事故・ヒヤリハットの件数も報告され、昨年度は重篤な事故0件、軽微な事故9件、ヒヤリハット6件でした。今年度11月現在で重篤な事故1件（指の骨折）、軽微な事故15件、ヒヤリハット18件となっています。指の骨折についてはすでに回復済みであり、夜間に利用者が居室で移動した際、転倒しそうになり壁に指をついたこと

が原因と思われます。居住環境の整備とベッド周辺に明かりがとれるような対応を行うことで同様の事故は見られていません。

昨年、不適切と思われる利用者対応が発生しました。豊岡市虐待防止センター、香美町虐待防止センター（利用者の援護の実施機関）にも報告をしております。虐待認定を受けた案件ではありませんでしたが職員への直接指導やチームケアの徹底、障害特性に係る研修、接遇等にかかる研修などを行い、支援方法の見直しを行ないました。

3 質疑応答、意見交換

意見・質疑①

■（委員）：地域の清掃活動や防災活動にグループホームの方々が参加してくれていることは非常にありがたいです。また、フラダンスチームの活動など、地域の行事を盛り上げてくれていることも嬉しく思います。

→（職員）：ありがとうございます。今後も地域の一員として、できることがあれば参加させていただきたいと考えます。

意見・質疑②

■（利用者）：食事を提供している障害福祉サービス事業所で働いています。毎週火曜日、日曜日は休みです。委員の皆様グループホームの見学ありがとうございます。グループホームの見学だけでなく日中活動している事業所にも来てください。今のところグループホームでの生活に困ったことはありません。

→（職員）：いつも明るく声をかけてくれてありがとうございます。委員の皆様、お時間があれば日中活動場所へもお越しいただければ幸いです。

まとめ

次年度以降も地域連携推進会議を継続して開催し、利用者と保護者、地域とが意見交換しながらサービスの透明性と質の向上、地域との良好な関係性づくりを目指していくことを確認しました。

4 その他

○会議報告書はWAM NET（福祉医療機構）にて公表します。